

令和七年度特別陳列

大和の 城郭と 考古学

主催 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館
後援 (公財) 由良大和古代文化研究協会・NHK奈良放送局



奈良県立 橿原考古学研究所附属博物館
THE MUSEUM, ARCHAEOLOGICAL INSTITUTE OF KASHIHARA, NARA PREFECTURE



写真全体:和州郡山城絵図[国立公文書館蔵 請求番号169-0335]

写真上:郡山城跡出土 金箔瓦[当研究所蔵]、写真右下:史跡 宇陀山山城跡出土 桐文鬼瓦[宇陀市教育委員会蔵]、写真左下:史跡 高取城跡 鯉瓦[高取町教育委員会蔵]

令和七年度特別陳列

大和の城郭と考古学

主催 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館
後援 (公財) 由良大和古代文化研究協会・NHK奈良放送局

奈良県には古代山城の高安城をはじめ、中近世にも城館が数多く築かれました。中世の大和は興福寺の支配下にあり、興福寺により衆徒・国民という身分を与えられた大和在地の武士たちが城を構えて統治する群雄割拠の時代であったといえます。織田信長による大和一国諸城破却令により郡山城以外の大和諸城が破却されると、郡山城が大和一国統治の拠点となりました。豊臣政権下では豊臣秀長が郡山城に入城すると、郡山城、高取城、宇陀松山城の整備をはじめ、領国支配を進めていくこととなります。

今回の特別陳列「大和の城郭と考古学」では、これら大和の城郭の歴史やこれまでの発掘調査成果、そして発掘調査の出土品を紹介します。



史跡 宇陀松山城跡／雷神鬼瓦
(宇陀市教育委員会蔵)



信貴山城跡／茶臼 (当館蔵)

講演会

日時：2026年2月15日(日) 13時30分～(12時開場)

※13:00～13:30は考古学写真甲子園表彰式
入場無料・申込不要(先着250名)

会場：奈良県立橿原考古学研究所 講堂

テーマ：発掘調査で明らかになった大和の城郭

十文字 健(大和郡山市)「発掘調査から豊臣期の郡山城に迫る」

青山 航(宇陀市教育委員会)「宇陀松山城跡の発掘調査

―破城の作法の検討―」

岡田 雅彦(当研究所)「織豊期の大和の瓦」

列品解説

日時：2026年2月14日(土) / 3月7日(土)

各日10:30～(30分程度)

会場：当博物館 特別展示室 ※申込不要、観覧券が必要



多聞城跡／瓦製建物(当館蔵)

主な展示資料

高安城跡出土土器(当研究所)、椿井・西宮遺跡出土土器(当研究所)、三ツ池遺跡出土土器(平群町教育委員会)、古市城山遺跡出土土器(奈良市教育委員会)、鬼蘭山城跡出土土器(奈良市教育委員会)、筒井城跡出土土器・瓦(大和郡山市)、立野城跡出土土器・瓦(当研究所)、信貴山城跡表採土器・瓦・茶臼(平群町教育委員会／当館)、多聞城跡出土土器・瓦・瓦製建物(奈良市教育委員会／当館)、史跡 郡山城跡出土瓦(大和郡山市／当研究所)、史跡 宇陀松山城跡出土鬼瓦(宇陀市教育委員会)、史跡 高取城跡鯉瓦・鬼瓦(高取町教育委員会／当研究所)、郡山城下町旧奥野家(紺屋跡)出土土器・木製品(大和郡山市)

開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日 月曜日、2月24日(火) ※2月23日(月・祝)は開館

入館料 大人400円(350円) / 高校・大学生300円(250円) / 小・中学生200円(150円) ※ ()内は20名以上の団体料金

ただし、国内の方で以下の場合は無料。

- 18歳未満及び高校生、
- 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付き添いの方1名、
- 留学生まほろばパスをお持ちの方、外国人観光客と一緒に来館するボランティアガイド(公益社団法人日本観光振興協会発行の観光ボランティアガイド組織一覧に掲載された団体の会員)、
- 65歳以上の方は平日のみ無料 ※それぞれ証明するものをご提示下さい。

奈良県立 橿原考古学研究所附属博物館
The Museum, Archaeological Institute of Kashihara, Nara Prefecture

〒634-0065 奈良県橿原市畝傍町50-2
TEL (0744)24-1185・FAX (0744)24-1355

URL <http://www.kashikoken.jp/museum/>
右のQRコードからもホームページにアクセスできます。



■最寄り駅：[近鉄橿原線《畝傍御陵前駅 Unebighoryomae Sta.》下車…西へ徒歩約5分]・[近鉄南大阪線《橿原神宮前駅 Kashiharajingu-mae Sta.》下車…北へ徒歩約15分]

次回展示のお知らせ

令和8年度 春季特別展 「弥生時代の墓制(仮題)」